

石見食品 株式会社



社屋外観

- 所在地
浜田市下府町388-60
- 労働者の人数（うち障害者の人数）
60名（4名）
- 事業内容、特長・強み
石見食品は豆腐、油揚げ、厚揚げなどの大豆製品を製造し、今期で61年を迎える会社です。昔ながらの手作りを残した生産体制でこだわりの商品を多く手掛けています。
- 大切にしていること
「まごころを食卓へ」をモットーに商品ひとつひとつに心をこめて、皆さんの食卓が少しでも楽しく明るく、癒しのひと時になるお手伝いができるよう商品づくりをしています。

障害者雇用のきっかけについて教えてください。

30年以上前から新卒で採用のご縁があってから地道に雇用を続けています。



工場内の様子

就労中の障がい者



これから障害者雇用に取り組む企業に対しメッセージをお願いします。

障がい者雇用で大切なのは受け入れる周りの社員の理解と配慮だと思います。無理なルールや取り組みは長続きしないので自然体でお互いに支え合う風土を地道に築いていければ、障害のある方もやりがいをもって仕事ができると思います。

障害者雇用にあたって意識していることや工夫していることについて教えてください。

障害のある方だからといって特別扱いをするのではなく、他の社員と同様に目標を持って仕事に従事してもらっています。ただし特性はそれぞれ違うので何か問題になる前に個別にコミュニケーションをとって対応しています。



就労中の障がい者

Q

障害者を雇用したことがないので障害のことがよくわかりません。貴社では、どのような障害者を雇用されていますか。

A

弊社では知的障害の方が3名、発達障害の方が1名在籍しています。

Q

当社ではバリアフリーが整っていないので、障害者の雇用は困難です。貴社ではバリアフリーが整っていますか。

A

2年前に新設した工場はバリアフリー化に努めておりある程度フラットな床になっています。しかし多くはまだ対応できておりません。

Q

障害者を雇用したことがないので、どのように障害者と関わっていいかわかりません。貴社では障害者とどのように関わっていますか。

A

特別扱いすることなく他の社員と同じように関わっています。

Q

障害者を雇用することは企業にとって負担になるのではないかと考えています。企業として障害者を雇用するメリットはなんですか。

A

他者を思いやる優しさ、あらゆる困難を乗り越える忍耐力を育む事ができると思います。

Q

当社は慢性的に人手が不足しており、障害者を雇用したとしても現場での指導体制や社内の支援体制が整えられません。貴社では、どのように体制を構築しておられますか。

A

弊社も体制的にはなかなか整ってはおりませんが、それぞれの部署での関わりはしっかりとっています。

Q

ハローワークから障害者を雇用するよう指導されたことから、障害者雇用を進めなければいけないと考えていますが、社内全体の理解が得られない状況です。貴社が障害者雇用を進める際、同じような悩みはありませんでしたか。また、社内全体で取り組むため、なにかいい方法があれば教えてください。

A

会社トップがしっかりと障がい者雇用についての思いを社員に伝える必要があると思います。

Q

当社には専門的な業務しかなく、障害者に任せられる業務がありません。専門的な業務しかない企業でも障害者を雇用することはできますか。また、貴社では障害者にどのような業務を担当してもらっていますか。

A

障害の程度にもよりますが一般の社員とほぼ同様の仕事をしてもらっています。難しい場合は業務の難易度を下げて対応してもらっています。

Q

障害者を雇用したとしても、長く続けてもらえるか心配です。貴社ではそのような心配はありませんか。また、障害者の方が長く続けていけるよう配慮していることはありますか。

A

なるべくコミュニケーションをとり悩みや問題が大きくなるようにしていません。



Checkpoint

もにすの
豆知識

精神障害に関する職業的課題②

((独)高齢・障害・求職者雇用支援機構発行「就業支援ハンドブック」を参考に記載)

▶ 易疲労性

きまじめで手を抜けない、常に緊張状態にあり気が休まらないといった傾向や薬の副作用などから、疲れやすく基礎的体力に課題を持つ人が多い。

▶ 作業遂行力の制限

疾患や薬の副作用、緊張の強さなどから、手先の不器用さ、動きのぎこちなさなどの運動機能の低下、記憶力や判断力といった認知機能（脳に機能）の低下が見られることがある。

これにより、作業能率や仕事の理解・判断力に制限が生じる場合がある。

▶ 社会的未成熟さ

思春期や青年期に発症した場合、職業的な自己理解や社会常識的なルールやマナーを身につけるうえで、経験不足となっていることがある。

▶ 適度な人間関係の作りにくさ

周囲の評価に敏感になる、相手の言っていることを被害的に受け止めがちになる、自分の気持ちをうまく伝えられない、頼まれると断れない、自己懲罰的になるなど、人間関係に関する認識面や対人・コミュニケーションスキル面で難しさを感じる人が多い。

▶ 生活面の援助が必要

バランスの取れた生活管理が苦手なため、生活面に関する援助が必要な人が見られる。